

授業科目		単位数	学年	期間	実務経験		担当氏名
					職種		
地域・在宅看護論実習 (地域で療養する人々への支援) (地域で療養する人々への看護)		2	2・3	2年後期 ～ 3年後期	看護師		専任教員
実務経験のある教員等による授業科目(いずれかに○印)					授業形態(全授業時間に対する割合)		
○該当する ・ 該当しない					講義形式()% ・ 実習など講義形式以外(100)%		
評価方法	看護実践・実習に対する意欲・態度・実習記録・カンファレンスへの参加・課題レポート・出席日数を総合的に評価				教科書・参考資料	臨地実習要綱 在宅分野関連教科書他	
概要	保健・医療・福祉活動の実態をとらえ、地域で生活する人々に焦点を当て、健康レベルに応じたニーズを理解し、看護職の役割と看護観を深める。 利用者・家族を支える為の社会資源や地域連携のケアシステムを学ぶ。更に在宅で終末期を迎える利用者と家族に対する看護実践能力を培う。						
目標	1. 各ライフサイクルで疾患を抱える対象(在宅で療養する人)を理解する 2. その対象に対する看護実践の方法を習得する 3. それぞれの施設のサービス、役割と看護師の役割を理解する 4. 専門職業人としての態度を養う						
回数	授業内容・計画						
	地域密着型特定施設入居者生活介護 アーバンライフ二階町 小規模多機能型居宅介護 ナイスデイ二階町 津山市地域包括支援センター 津山中央居宅介護支援事業所 地域での予防活動 こけない体操 津山中央訪問看護ステーション 1. 介護保険について自己学習 2. 地域密着型特定施設の理解 3. 小規模多機能型居宅介護の理解 4. 地域包括支援センターの理解 5. 居宅介護支援事業所の理解 1. 訪問看護ステーションの概要 2. 施設内看護と地域看護の特徴と看護の役割 3. 在宅看護の現状と援助の実際 4. 受け持ち利用者への看護過程の展開 5. 訪問看護師の看護の視点 6. 受け持ち利用者を取り巻く地域包括ケアシステム 7. 在宅で終末期を迎える利用者と家族の支援						
留意事項							